

屈斜路湖の概要

「屈斜路湖」は、屈斜路カルデラに横たわる東西 26 km 南北 23 km の楕円形のカルデラ湖で、カルデラ湖としては日本で最大、湖としては日本で 6 番目の大きさです。

湖面の標高は 121m、面積は 79.6 km²、周囲は 57 km で、水深は最大で 117.5m、平均で 28.4m です。

湖の中央に浮かぶ直径 2.8 km の中島は、標高が 355.2m の円形の火山島で、面積は 5.7 km²、湖に浮かぶ中島としては日本最大です。

湖の周りには、藻琴山やコトヌブリ、美幌峠などの外輪山がそびえ、湖岸には 20 数本の小河川が流入し東南岸からは釧路川の源流として湖水が流れ出ています。

冬は全面結氷しますが、湖岸近くに点在する地熱の高いところは、氷結しないためオオハクチョウの飛来地にもなっています。

屈斜路湖は阿寒摩周国立公園の第 1 種特別地域に指定されているほか、和琴半島を発生地とするミンミンゼミは国の天然記念物に指定され、マリゴケは弟子屈町の天然記念物に指定されるなど、貴重な自然の宝庫となっています。

屈斜路湖のライブ映像



屈斜路湖ライブカメラ |

検索

<https://www.masyuko.or.jp/livecamera/>

屈斜路湖ライブカメラで検索または、右のQRコードからWEBサイトにアクセスして、ウォータースポーツ交流公園やコタンなど屈斜路湖の状況を確認しましょう。



各種連絡先

■緊急時の連絡先

- 弟子屈消防署 TEL 119
- 弟子屈警察署 TEL 110

※ 携帯電話での 119・110 番通報は弟子屈消防署・北海道警察釧路方面本部に繋がり、そこで場所を特定してから管轄の消防署・警察署へ繋がるようになっておりますので、住所など正確に伝えて下さい。

■屈斜路湖適正利用連絡協議会

- 事務局：弟子屈町環境生活課 TEL (015) 482-2934

屈斜路湖 適正利用の ルール & 安全マニュアル



屈斜路湖の自然を守りながら
安全に利用しましょう

■自然公園法に基づき屈斜路湖での動力船の使用は禁止されています
※ゴムボートにエンジンを搭載したものや電気を動力とするものなども禁止対象です

禁止期間：毎年 4 月 1 日～12 月 31 日

屈斜路湖適正利用連絡協議会

屈斜路ウォータースポーツ交流公園の利用案内

■開園時間：午前8：00～午後4：00

■受付時間：午前8：00～午後3：30

■利用期間：5月上旬～10月中旬

■休 園 日：利用期間中無休

(悪天候などにより開園・休園する場合があります。)



■使用料	野外活動施設使用料	1日中1艇につき	520円
	シャワールーム使用料	1人1回(15分)	220円
	研修室使用料	午前 990円	午後 1,430円
	和室使用料	午前 440円	午後 770円

■お問い合わせ先：TEL (015) 484-2180 / FAX (015) 484-2180

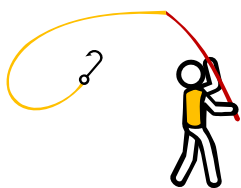
◆園内利用の注意事項

- ①本施設は無動力船の発着場です。
- ②本施設周辺での遊泳を禁止します。
- ③本施設を利用し、お帰りの際は受付に報告をして下さい。
- ④暴力団構成員及び関係者の利用は、お断りします。
- ⑤栈橋は、救助艇などの緊急用です。
- ⑥大会などにより一般の利用が出来ない場合があります。
- ⑦園内での車輛の走行は、徐行して下さい。
- ⑧車輛は、決められた位置に駐車して下さい。
- ⑨園内で発生した事故の責任は、負いません。
- ⑩園内での宿泊を伴うキャンプや焚き火(直火)は禁止です。
- ⑪利用中は、係員(管理人等)の指示に従って下さい。
- ⑫その他、屈斜路湖を利用する上でのルールを遵守して下さい。

※これらの注意事項が守られない場合は、屈斜路ウォータースポーツ交流公園の利用をお断りします。



屈斜路湖フィッシングルール＆マナー



屈斜路湖は阿寒摩周国立公園の希少な大自然の中でのスポーツフィッシングを楽しみに、全国各地から多くの釣りが訪れるフィールドです。しかし、魚の資源量は決して多くはありません。町では、釣りを楽しんだ後は魚を再び湖に返す『**キャッチ＆リリース**』を推奨しています。

★詳しくは、別冊「屈斜路湖フィッシングルール＆マナー」をご覧ください★

屈斜路湖を利用する上でのルール

- ライフジャケットを装着するなど最大限の安全確保に努めて下さい。
- 屈斜路湖は、突風や独特の風向きの変化など気象条件により、湖面状況が予想できない場合がありますので、十分に注意し、状況悪化のおそれがあるときは、すみやかに上陸して下さい。
- 原生的な森林生態系など貴重な自然環境の保全のため、中島への上陸は規制されていますので上陸しないで下さい。
- オオハクチョウなどの野生動物を脅かさないよう、ご注意下さい。
- 発生したゴミなどは各自の責任において持ち帰って下さい。
- 水生植物の保全など屈斜路湖の自然環境に配慮して下さい。
- 冬季の氷上散策などについては、湖岸近くでは地熱が高く薄氷となる箇所が点在していますので、ご注意下さい。
- 住民、観光客、キャンプ場利用者などへの迷惑行為はしないで下さい。
- 一時的に着岸する場合は、周囲の利用状況に十分注意して下さい。
- 裏面の屈斜路湖利用のチェックポイントを活用するなど、十分に安全確認を行って下さい。



屈斜路湖適正利用連絡協議会 構成員名簿

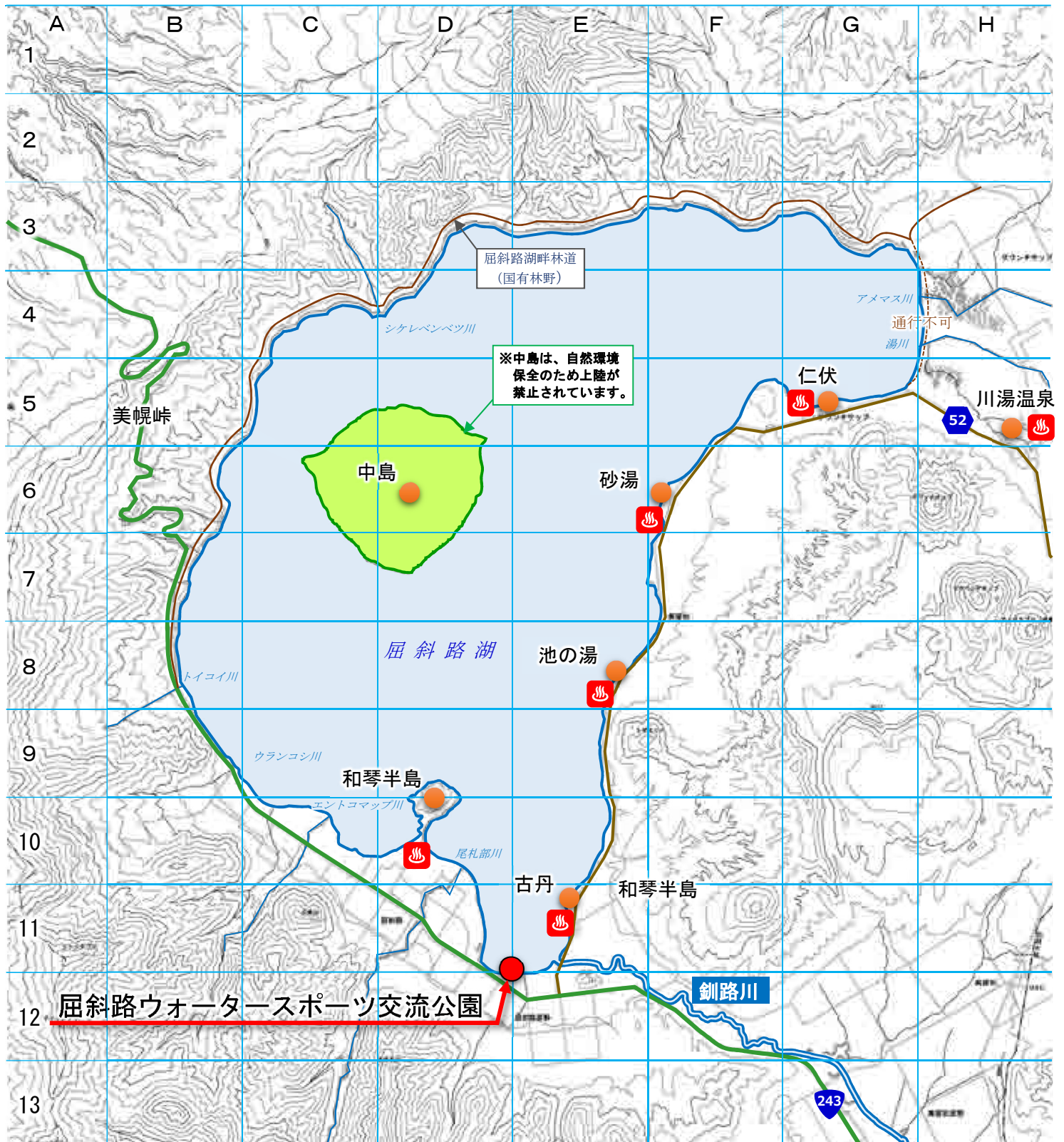
- 弟子屈町長
 - 環境省 阿寒摩周国立公園管理事務所長
 - 北海道釧路総合振興局 保健環境部環境生活課長
 - 北海道釧路総合振興局 地域創生部地域政策課長
 - 北海道釧路総合振興局 釧路建設管理部弟子屈出張所長
 - 弟子屈警察署長
 - 根釧西部森林管理署長
 - 弟子屈消防署長
 - 釧路北部消防事務組合長
 - 一般財団法人自然公園財団川湯支部所長
 - 万代観光株式会社代表取締役
 - 屈斜路プリンスホテル支配人
 - 弟子屈セーリング協会会長
 - 釧路水上スキークラブ会長
 - 一般社団法人摩周湖観光協会会長
 - PW安全協会道東支部長
 - 釧路川源流域ネットワーク会長
 - KFC(屈斜路フィッシングクラブ)会長
 - 屈斜路自治会長
 - 丸木舟代表
 - てしかがえこまち推進協議会エコツーリズム推進部会長
- オブザーバー：北海道運輸局 釧路運輸支局 船舶・船員課

屈斜路湖ナンバリングマップ

このマップは自分の位置を確認するとともに、緊急時の通報などにご利用ください。

●ナンバリングマップのご利用方法

「列（アルファベット）」の「行（数字）」→「D」の「9」⇒ 和琴半島北部付近



■自然公園法に基づき 屈斜路湖での動力船^(※)の使用は禁止されています

※ゴムボートにエンジンを搭載したものや電気を動力とするものなども禁止対象です

● 違反した場合は、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられます

● 禁止期間：毎年4月1日～12月31日

屈斜路湖利用のチェックポイント

利用前のチェックポイント

■無理のない利用計画を立てる

- ◆利用水域を「屈斜路湖ナンバリングマップ」により確認していますか？
- ◆地形、水深などの確認は十分ですか？
- ◆グループで行動する計画ですか？

■気象情報を入手する

- ◆最新の気象情報は入手していますか？
 - スマートフォンなどのアプリやインターネットから気象情報を入手する。
 - ラジオやテレビなどから気象情報を入手する。
 - 1 7 7 天気予報サービスから気象情報を入手する。
- ▼気象庁（☎177） ▼釧路地方（☎0154-177） ▼網走地方（☎0154-177）

◆観天望気に心掛けていますか？

観天望気とは、その地方の環境や気象の変化の特徴を踏まえた独自の気象観測方法で、雲、風、気温などの状況から、これまでの経験を基に天気の変化を予測するものです。観天望気はそれぞれの地方・地域毎に違います。その地方の観天望気に詳しい人などから十分な知識を得ておけば、気象情報が得られない時など短期間の予測には、大変有効です。

屈斜路湖は地方の天気予報とは違った特有の気象状態となるので要注意！

- ◆天候悪化が予想され、利用を中止する必要はありませんか？

■湖の状態を把握する

- ◆湖面の状態に注意していますか？
 - 湖面が穏やかな時、遠くからゆっくりとしたローリング波が来たら、30 分から 1 時間後に強い風による大きな波が来ると言われているので、避難に心掛けること！1mから 2mの大波が来ることもあります。
 - 湖面が鏡のような状態になると、その後、強い風が吹くことが予想されるので要注意！
 - 水鳥の群れが急に飛び立つと、その後、飛び立った方向から強い風が吹くことがあります！
- ◆屈斜路湖は、温泉の湧出が点在しているため次の点に注意していますか？
 - 水域によっては、10℃以上の温度差があるので遊泳には要注意！
 - 冬場の氷丘脈※が出来る個所は、薄氷となっている個所があるため要注意！
※諏訪湖の御神渡しと同様の氷隆起現象

■体調に気をつける

- ◆体調不良や薬の影響により正常な操船などができない恐れはありませんか？

■装備の積み込み、服装の確認をする

- ◆カナディアンカナーで釣りをする場合アウトリガーを装着していますか？
- ◆カナーにエアバッグ(浮力体)が装備されていますか？
- ◆救命胴衣、時計、笛などの法定備品は忘れていますか？
- ◆乗船者数が、最大とう乗人員を超えていますか？
- ◆乗船者は、全員救命胴衣を着用していますか？
- ◆季節や場所にあった服装(ウェットスーツなど)、保護具を着用していますか？

■連絡体制を確保する

- ◆陸上に見張りを確保していますか？
- ◆家族などに屈斜路湖の利用について連絡しましたか？
- ◆家族などとの連絡手段は、確保されていますか？
- ◆緊急連絡手段を確保していますか？（携帯電話や無線機の携行など）
※屈斜路湖の大部分は、通話圏外のため連絡手段を確保しましょう。

■船体の点検する

- ◆船体に異常はありませんか？

利用中のチェックポイント

■湖や周りの状況を把握する

- ◆他の船舶の動き、遊泳中の人等に注意していますか？
- ◆水上・水中の障害物に注意していますか？
- ◆自船の位置を確認していますか？

■船体に注意する

- ◆船体に異常はありませんか？

■気象や湖の状態変化に注意する

- ◆屈斜路湖は、突風や独特の風向きの変化といった気象現象がおこります。状態悪化の恐れがあるときは、速やかに上陸するよう心掛けていますか？
- ◆気象の変化に注意していますか？
- ◆湖の状態変化に注意していますか？
- ◆他の湖水利用者と情報交換はしていますか？
- ◆荒天などにより計画を変更したときは、航行前に連絡した所に計画変更の連絡をしましたか？

利用後のチェックポイント

■着岸・係留

- ◆適切な係留場所に係留していますか？
- ◆係留方法は、他の船舶の迷惑になりませんか？
- ◆流出したり、他の船舶に接触しないようしっかりと係留しましたか？

■着艇報告

- ◆船航行前に連絡した所に、着艇報告しましたか？

水難事故への備えと遭遇した場合

◇水難事故に遭遇した場合

事故に遭遇したら、直ちに人命の救助を行うと共に、消防署、警察署などに以下の要領で分かっている項目から正確に連絡して下さい。

- ①通報者の名前
- ②場所はどこか（屈斜路湖ナンバリングマップを利用）
- ③どのような水難か
- ④どのような船に何人乗っているか
- ⑤ケガ人の数・状況や取っている措置
- ⑥舟などの状況や取っている措置

救助を求める手段として、携帯電話を使用することは言うまでもありませんが、屈斜路湖の大部分は携帯電話の通話圏外ですので、陸上の見張りや緊急連絡員の配置、無線機の携行などの緊急連絡手段を確保して下さい。

救命信号類を備えておき、使用方法を確認しておくことも大切です。

事故が発生した際に、使いやすい遭難信号は

- ①落下傘のついた赤色の炎火ロケット又は赤色の手持ち炎火による信号
- ②オレンジ色の煙を発する発煙信号
- ③左右に伸ばした腕を繰り返しゆっくり上下させる信号
- ④笛の吹鳴や懐中電灯などによる S O S 信号

この他に、大声を出す、バケツなどを叩いて大きな音を出す、衣類を振るなどあらゆる手段を使って、早く周りの人に知らせる工夫をしましょう。

付近で事故が発生した時などに応急的な救助活動ができるように日頃から訓練しておくとともに、周囲の人に遭難信号を教えることも大切です。

◇自分が水中に転落した場合

- ①ライフジャケットを着用していればすぐに沈むことはありません。まずは、落ち着いて自分の状況を把握することが重要です。
- ②周りに人が居なくても、必ず助かるとの信念を持って救助を待ちます。焦れば焦るほど体力を消耗するのでゆっくりと構えましょう。
- ③水中で運動をすればするほど体熱が奪われエネルギーのロスになります。HELP(Heat Escape Lessening Posture) 熱放出低減姿勢をとり可能な限りじっとして保温に努めましょう。
- ④付近に岩場などがある場合、波が穏やかであれば、そのまま岩場に上陸して下さい。しかし、磯波などがあり危険な場合は、逆に沖に向かって移動しましょう。



HELP（熱放出低減姿勢）

◇仲間が水中に転落した場合

不幸にも仲間が水中に転落・漂流した場合は、直ちに次のことをして下さい。

- ①万一、救命胴衣を着用していない場合は、早急に浮力を維持できる物などを投入します。可能な限り浮力が大きくロープなどで身体を固定できる物にしましょう。
- ②漂流者の位置及び状況を把握する。このとき、漂流者が使用する浮体とは別に、目印となる浮体を投入すると漂流者を見失いにくくなります。

屈斜路湖の水難事故事例

No.	発生年月日	事故者	行為	事 故 概 要
1	S58. 7. 30	男	営業中	モーターボートから転落溺死
2	S58. 8. 5	男	遊泳中	遊泳中行方不明
3	S63. 5. 27	29 歳男	舟遊中	カナー転落溺死と推測
4	S63. 8. 7	15 歳男	舟遊中	ボートから転落溺死
5	H 1. 7. 9	32 歳男	救出中	子供のボートが流され救出中に溺死
6	H 1. 8. 3	24 歳男	舟遊中	水上スキーを牽引したモーターボートが遊泳中の高校生をはね、右大腿部骨折 3 ヶ月の怪我を負わせた
7	H 3. 5. 4	19 歳男	舟遊中	カナー転落溺死
8	H 3. 6. 16	22 歳女	競技中	マリンジェット競技中に接触し負傷
9	H 3. 8. 7	18 歳男	遊泳中	遊泳中に溺死
10	H 3. 9. 15	29 歳男	舟遊中	ウィンドサーフィンで舟遊中に溺死
11	H 8. 5. 26	27 歳男	舟遊中	マリンジェットで舟遊中に溺死
12	H 8. 8. 14	26 歳男	舟遊中	夜間、水上バイク燃料等切れで岸まで泳ぎ疲労死
13	H10. 9. 13	33 歳男	舟遊中	マリンジェットで舟遊中に溺死
14	H11. 10. 10	42 歳女・9 歳男 13 歳男・10 歳男	舟遊中	カナーで中島へ向かい、強風で帰れない
15	H12. 7. 5	30 歳男	釣り中	釣り人が深みにはまる
16	H13. 7. 18	33 歳男	舟遊中	流されたボートを戻そうとし行方不明
17	H14. 8. 18	30 歳男	舟遊中 競技中	プレジャーボートと水上バイクの衝突事故
18	H15. 6. 4	27 歳女・66 歳男	釣り中	カナー 2 隻が強風に煽られ転覆死亡
19	H24. 4. 26	38 歳男	釣り中	釣り人が深みにはまる
20	H28. 6. 16	76 歳男	釣り中	小型ボートで沖に出て強風で戻れず翌日中島で発見、救助される
21	H29. 6. 18	29 歳男	周遊中	カナーで沖合へ向かい強風で戻れず、翌日碁石浜付近で発見、救助される
22	H30. 7. 30	49 歳男・25 歳男 16 歳男	周遊中	ウエイクボードのロープが水上バイクに絡まり航行できなくなり、2 時間後沖で救助される
23	R 1. 9. 5	61 歳男・49 歳女	周遊中	サップボードが強風で戻れず
24	R 1. 11. 22	66 歳男・40 歳男 38 歳男	周遊中	カナー転落、100m 沖合で救助される
25	R 2. 7. 6	55 歳男・41 歳女	周遊中	水上バイクのエンジントラブルで戻れず
26	R 2. 7. 24	41 歳男	周遊中	水上バイクに牽引されるバナナボートが飛び跳ねた拍子に落下し、水面に体を打ち付ける
27	R 2. 8. 14	36 歳男・13 歳男	周遊中	カヤックが戻れなくなり、他の利用者に救助される

※水難事故の例です。